

講義名	地域・都市集客論			授業形態	
担当教員	西村 典芳	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

わが国は、他国に先駆けて「人口減少・超高齢社会」の危機に直面しています。こうした現状を打破していくために、官民の垣根を超えて「地方創生」に関する議論が展開されています。政府は、今後の目指すべき将来の方向を提示する「総合戦略」を策定し、地方創生をテーマとしたわが国全体の活力向上を目指しています。本講座では地方創生に関する総合戦略において、地域産業の競争力強化の方策として掲げられている「観光」をテーマとし、特に、地域・都市への誘客のための「観光地域づくり」の観点からそのあり方を学びます。講義の中では、具体的に「神戸マラソンの観戦者調査をしたデータから、問題点と市場機会の発見、地域への改善手法と企画を考察します。

到達目標

a. 知識・理解 ・地域や都市の現状を理解することができるようになる。
 ・集客における観光の重要性を説明できるようになる。
 b. 思考・判断 ・地域や都市の集客に関する課題について、問題解決方法を自分で考えることができるようになる。
 c. 関心・意欲 ・ニューツーリズムと都市との関係性を理解することができるようになる。
 d. 技能・技術 ・都市観光のマネジメント手法を理解できるようになる。
 e. その他 ・学んだマネジメントやマーケティング手法を他の業種や業態に当てはめることができる。

提出課題

- ・毎回、授業内容の課題についてリアクションペーパーを書いてもらいます。
- ・授業内容から、あるいは自分の考えを整理してまとめて提出してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・課題のリアクションペーパーからの疑問や理解に対して、次週の授業のはじめに解説します。
- ・質問欄に書かれた質問に対する答えも回答します。

評価の基準

- ・授業回数の3分の1（5回）以上を欠席すると期末テスト（あるいはレポート提出）の受験資格（単位）はありません。
- ・評価については、毎回の課題レポート提出、授業態度など40%、期末テスト（または期末レポート）60%として、総合評価とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・11月17日（日）「神戸マラソン」の観戦者調査を行います。
- ・授業で学ぶ基本は重要ですが、観光に関する情報は日々変化しますので、常に新聞等で新しい観光の情報も入手してください。
- ・授業に関する注意は次の通りです。
- ・座席指定を行う予定です。
- ・授業中の許可した時間以外の携帯・スマホの使用は禁止します。
- ・そのほか私語、遅刻等は許しません。注意しても改善されない場合は欠席扱いとなります。
- ・授業中、わからないところや疑問に思うことは積極的に質問してください。

教科書

・使用しない。

参考図書

・観光ビジネスの新展開。	田中祥司	晃洋書房	2700	978-4-7710-37
--------------	------	------	------	---------------

その他

- ・必要に応じてプリントを配布します。
- ・参考文献・・・必要に応じて紹介します。

授業計画

第1回：地方創生と観光
 「地域の課題と観光」

第2回：地方創生と観光
 「日本遺産と観光」

第3回：地域資源と地域集客
 「温泉文化と地域」

第4回：地域資源と地域集客
 「教育旅行・教育民泊」

第5回：地域資源と地域集客
 「デスティネーション・マネジメント、DMO」

第6回：ニューツーリズムと地域・都市集客
 「神戸マラソン事例研究と調査のやり方」

第7回：ニューツーリズムと地域・都市集客
 「神戸マラソンの観戦者調査」

第8回：地域資源と地域集客
 「ワインツーリズム」

第9回：地域資源と地域集客
 「ワインツーリズム」

第10回：ニューツーリズムと地域・都市集客
 「ウエルネスツーリズム」

第11回：ニューツーリズムと地域・都市集客
 「森林セラピー」

第12回：ニューツーリズムと地域・都市集客
 「ワールドカップラグビー、ワールドマスターズゲームズ」

第13回：ニューツーリズムと地域・都市集客
 「オリンピック」

第14回：国際観光と地域・都市集客

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・毎回の授業内容が変わるため、必ず予習、復習が必要です。
- ・観光に関する情報は日々新しくなっていますので、教科書以外にも新聞やメディアのニュースを積極的に読んで入手してください。
- 具体的には
 - ・授業で学んだ内容のポイントを整理してまとめてください。（2時間程度）
 - ・予習として、次回の授業範囲をよく読み内容を整理してください。（2時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

少子高齢化が進んでいく中で最も進んでいるといわれる日本においては、観光が大きくクローズアップされています。つまり、定住人口が減少すると、地域の消費額や納税額が減少して、その分の補填のためには他地域からの観光客や人口流入が必要となってきます。地域、都市はどのようにして人の動きを活性化するかを理解することで、集客に大きく関係する観光の在り方、実情を学びます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この授業は現状では、対面授業で欠欠や課題提出でICTを活用することがあります。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
 旅行会社の経営に26年間携わり、心と体の健康のための新しいツーリズム、「ウエルネスツーリズム」を研究し、地域の健康づくりを通じて活性化の手伝いをしています。

備考